

令和4年6月1日

建設緑政局関係議案資料 (その3)

議案第79号

南武線登戸・中野島間こ線道路橋上部工架替え
工事委託契約の締結について

建設緑政局

南武線登戸・中野島間こ線道路橋上部工架替え工事委託契約の締結について

1 事業の目的

- 都市計画道路世田谷町田線は、本市北部に位置し都市間（東京都）を連絡するとともに緊急輸送道路に位置付けているなど重要な主要幹線道路である。
- 「第2次川崎市道路整備プログラム」において、多摩水道橋から町田方面への820mを「登戸工区」と位置付け、既存の登戸陸橋（旧橋）の北側に新たな橋りょう（新橋）を整備し4車線化する計画としている。
- 「川崎市橋梁耐震化計画」において、対策すべき橋りょうと位置付け、耐震対策を行う計画としている。
- 旧橋については、今後予想される大地震への対応や通行する車両の大型車化への対応を目的とした、耐震性能などを確保する整備が必要となっている。

2 世田谷町田線（登戸工区）の取組の経過

- 昭和28年度：都市計画決定
- 昭和31年度：【旧橋】完成・供用開始
- 平成2年度：事業認可取得（登戸工区）
- 平成4年度：【新橋】下部工工事着手
- 平成11年度：【旧橋】耐震補強工事着手
- 平成12年度：【旧橋】耐荷等工事着手
多摩水道橋交差点の改良
- 平成30年度：【新橋】JR跨線部架設工事着手
- 令和4年度：【新橋】供用開始（2車線）



3 工事の概要

工事延長：L=18.5m、工事幅員：W=10.1m

構造：単純鋼床版桁橋

※橋りょうの諸元 橋長：L=435.412m、標準幅員：W=10.1m

工事箇所	主な工事	内容
上部構造	①既設桁撤去	JR南武線の上空にある橋桁を撤去
	②新設桁架設	撤去した位置に新たな橋桁を架設
	③鋼製高欄設置	橋の端部に高欄を設置
	④鋼製排水溝設置	車道の端部に排水設備を設置
下部構造	⑤縁端拡幅	橋桁落下防止として桁かかり長を確保（拡幅）

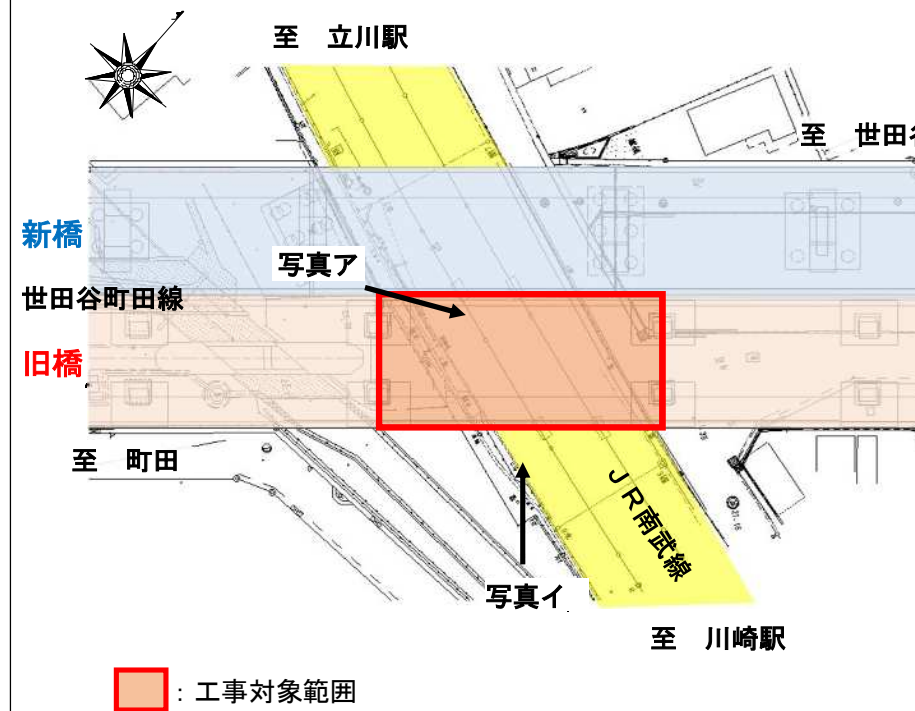
写真ア



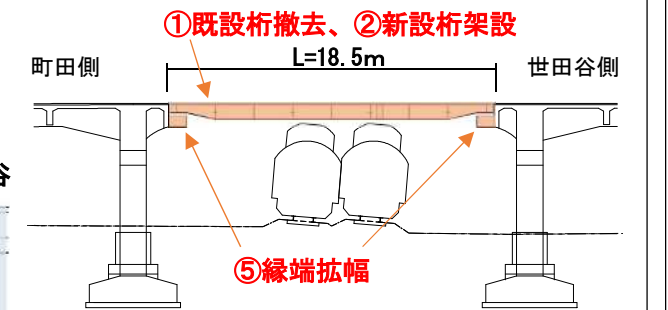
写真イ



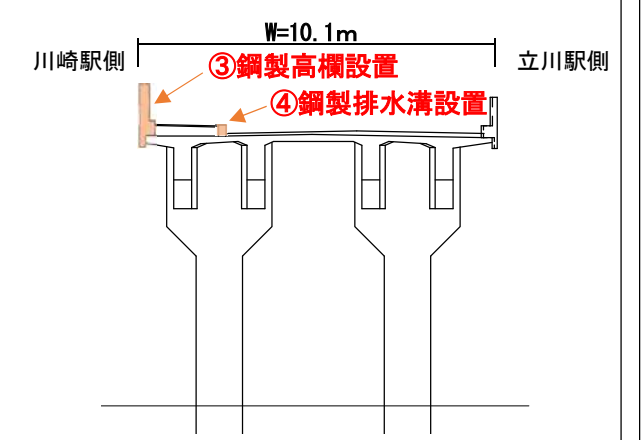
【平面図】



【側面図】



【断面図】



4 東日本旅客鉄道株式会社との契約の概要

工事の施行主体
東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）

工事の期間
施行協定締結日 ～ 令和7年3月31日

工事の費用
1,500,036,000円

【年度別の費用】

年度	費用
令和4年度	0.85億円
令和5年度	4.60億円
令和6年度	9.55億円
合計	15.0億円

5 今後のスケジュール

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
JRこ線部	上部工架替え工事	JR東日本施工						旧・新橋供用開始(2車線)
	桁製作等工事		川崎市施工					
JRこ線部以外	耐震・耐荷等工事			川崎市施工				
4車線化整備工事					川崎市施工			